



たかの
高野 たけし
無所属 47歳

逗子市議会議員（5期）
・教育民生常任委員会 委員長
・議会運営委員会 委員
・議会報編集委員会 委員
・基地対策特別委員会 委員

新型コロナウイルス対策特別号

～ 逗子市の取り組み ～

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・県が行っている支援制度に加え、逗子市でも以下の取り組みを実施することになりました。

① 逗子市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金

県の緊急事態措置の協力要請に応じて休業または営業時間の短縮をした事業者、20万円の協力金を上乘せして交付。（5月下旬受付開始予定）

◎申請条件
神奈川県の新規新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の交付要件を満たし申請している者

② 逗子市中小企業者等事業継続応援給付金

売り上げ等が減少した中小企業者および個人事業主（デザイナーやインストラクター含む）に対し、事業継続を支援するため10万円の応援給付金を交付。（5月下旬受付開始予定）

◎申請条件
（拡大防止協力金の交付を受けておらず、以下の何れかに該当する者）
・中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定による認定を受けた者
・日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付を受けた者
・中小企業庁の持続化給付金の支給を受けた者
・売上高等が前年対比で20%以上減少した者

③ ひとり親家庭への生活支援給付金

児童扶養手当受給者および児童扶養手当を申請していないが市内に住民登録のある18歳以下の子どもを扶養するひとり親家庭等に対し、生活支援のため3万円の特別給付金を支給。（6月初旬振り込み開始予定）

④ 新型コロナウイルス感染症対策基金

地域経済対策、感染症予防対策等にかかる経費に充当するため約3億7千万円規模の基金を創設。

政治資金の残り

84,321円

（令和2年4月の内訳）

収入…給与から

50,000円

市民の皆様から私のもとに届いたご意見等も踏まえ、市として行うべき今後の対応を行政当局に質しました。

Q1: 利便性向上と他者との接触回避を目的に、カード決済やネットバンキングによる納税システムを導入すべきでは？

➡ イニシャルコスト・ランニングコストなどを踏まえ、導入の可能性について検討を始める。

Q2: 「新しい生活様式」の導入を鑑み、職員のテレワーク実施時においては出勤日数をコントロールした上で、週末の窓口業務の開設を検討してはどうか？

➡ すでに週末を含めた7日間の中で分散業務にあたっているが、週末の窓口業務の開設については今後の社会情勢を見ながら検討していく。

Q3: 今後新型コロナウイルスに伴う事業者への自粛要請が長引いた場合、新たな助成制度（2次補正）を行っていく考えはあるのか？

➡ 今後の動向を注視しながら、状況に応じて実施していく。

Q4: 個人向けの助成制度をさらに拡充していく考えはあるのか？

➡ 国や県が新たに行う制度の状況を見ながら、柔軟に検討していく。

Q5: 公共施設再開の目安となるものは？

➡ 現時点で明確な基準を示すことは難しいが、緊急事態宣言の期間、さらには各施設の設備や利用方法などを勘案しながら再開が可能などから順次進めていく。

～ Topics ～

市役所1階ロビーに『新型コロナウイルス対策総合窓口』を開設中

新型コロナウイルス感染症対策に関する一般的なことから、市民・事業者への給付金制度、市税の徴収猶予、特別定額給付金の支給などの相談窓口になります。

5月1日に開設して以降窓口業務は平日のみとなっていました。利便性を鑑み休日も開設すべき旨提言したところ、5月16日から土・日曜日も開設(6月以降は状況を見て判断)することになりました。また、お電話でもご相談できますのでこちらもご利用ください。(直通電話:046-872-8166)



『逗子の子どもネット環境サポートプロジェクト』が始動

臨時休業中の小・中学校では、HP等を通じて子どもたちに学習情報を提供しているほか、無料で利用できる学習支援サイトの紹介も行っています。しかしながら、それらを利用するためのネット環境が十分でないご家庭もあることから、端末・ネット環境の整備をサポートし、子ども・保護者・学校を支援することを目的に、逗子市前・教育長ら市民有志による『逗子の子どもネット環境サポートプロジェクト』がスタートしました。



Support 1

パソコンやタブレット端末、充電ケーブル・電源アダプター・マウスなどを寄付。

Support 2

端末の清掃・運搬・整理・セットアップ・インストールなどの作業。

Support 3

Wi-Fi環境のあるスペース(会社・お店)を学習場所として提供。

※詳しくは『ずしサポ』で検索。<https://www.facebook.com/zushisapo/>

福祉会館と市役所に『マスクご寄付BOX』を設置

使い捨てマスクや手作りマスクなどの備蓄が足りているため国から配布される布マスクは使う予定がないと言ったご意見も届いていたことから、不要な家庭から必要な方へ再配分することを提案。社会福祉協議会が中心となって、不要な方から未開封のものをお譲り頂き社会福祉施設等へお渡しすることになりました。福祉会館1階と市役所1階(社会福祉課窓口前)に『マスクご寄付ボックス』が設置されましたので、ご使用の予定がないという方はぜひご協力下さい。



『次亜塩素酸水の無料配布』を開始

5月16日から当分の間、週末の10時～12時と13時～15時に市民交流センター敷地内で次亜塩素酸水の無料配布(1人500mlまで)が行われます。密集を避けるため土曜日は逗子・桜山・沼間・山の根にお住いの方、日曜日は池子・久木・小坪・新宿にお住いの方が対象となります。洗浄したペットボトルなどの容器(金属製は不可)が必要になりますので忘れずにお持ちください。

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp